

へいわ ちか 平和への誓い

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

あらし せんそう
争いや戦争がないこと。

さべつ ちが みと あ
差別をせず、違いを認め合うこと。

わるくち い えがお
悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

み ちか へいわ
身近なところにも、たくさんの平和があります。

しょう わ ねん ねん がつむい か ごぜん じ ふん
昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

みみ ばくおん はだ や ねつ
耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

ひ ふ た き ち かわも う したい
皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

こ なまえ よ め あ め あ さけ つづ ははおや
子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。

たった いっぱつ ばくだん いっしゆん ひろしま は かい かな う つ
たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」

なかま うしな わたし そうそ ふ い じぶん せ
仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

げん し ばくだん い の ひとびと こころ ふか きず お
原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、

生きていくことへの苦しみをあた づつ くら
与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。

いま ひろしま みどりゆた えがお
今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう。」

いのち いま わたし い
命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

わたし
私たちにもできることがあります。

じぶん おも つた まえ あいて きも かんが
自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

とも み
友だちのよいところを見つけること。

えがお じぶん ちから つか
みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

いま へいわ おも ひと
今、平和への思いを一つにするときです。

ひばくしゃ おも じぶんごと う と じぶん ことば つた
被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。

み ちか へいわ ひと ひと こうどう
身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

だれ へいわ おも みらい ひろしま い わたし
誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

れい わ ねん ねん がつむい か
令和5年（2023年）8月6日

こども代表

ひろしま しりつうし た しょうがっこう
広島市立牛田小学校

6年

かつおか
勝岡

えれな
英玲奈

ひろしま しりつ いちひがし しょうがっこう
広島市立五日市東小学校

6年

よねひろ
米廣

ともる
朋留